

令和元年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析（対象：第5学年）

国語	A 教科の内容				
	話す・聞く力	書く力	言語	読む力	教科平均
東京都	65.3%	70.4%	64.4%	67.4%	67.6%
本校	72.3%	80.9%	65.0%	68.1%	69.7%
都との差	7.0%	10.5%	0.6%	0.7%	2.1%

社会	A 教科の内容			
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	教科平均
東京都	63.5%	66.8%	70.6%	66.7%
本校	65.5%	70.0%	74.5%	69.7%
都との差	2.0%	3.2%	3.9%	3.0%

算数	A 教科の内容			
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	教科平均
東京都	47.2%	65.0%	67.6%	60.1%
本校	51.6%	73.4%	68.8%	65.6%
都との差	4.4%	8.4%	1.2%	5.5%

理科	A 教科の内容			
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	教科平均
東京都	53.0%	67.0%	55.0%	56.8%
本校	54.1%	66.5%	59.8%	59.1%
都との差	1.1%	-0.5%	4.8%	2.3%

東京都の平均正答率との比較にみる本校の学力

- 【国語】言語力・読む力は、都の平均程度であるため、さらに伸ばすことが目標である。
- 【社会】都の平均を3%程度上回っている。思考力・判断力・表現力をさらに伸ばすことが目標である。
- 【算数】都の平均を5%程度上回っている。知識・理解をさらに伸ばすことが目標である。
- 【理科】都の平均より2.3%上回っているが、観察実験の技能が下回っており、喫緊の課題である。

授業改善のポイント

- 【国語】「言語力・読む力」を高めるために、読書タイムや家庭学習の時間を活用し、語彙を増やす活動に取り組む。
- 【社会】社会的事象を一方向からではなく、多面的に捉える活動を意図的に取り入れる。
- 【算数】算数的活動を工夫し、計算タイムや補習の時間に基本的な知識・技能の定着を繰り返す。
- 【理科】目的や視点を明確にして観察・実験を行い、結果を考察する活動に取り組む。